



同年、明治の元老、山県有朋が近くに別荘「無鄰菴」の造営を始める。庭造りに指名したのが7代目治兵衛。碧雲湖を模したような池や三段の滝など、疎水を存分に取り込んだ名庭園が生まれた。

それまでの京都の庭の池はため水を使うしかなかつた。7代目の子孫で、次期12代小川治兵衛である作庭家、小川勝章さんは「夢の水だつたのではないでしようか」と話す。飲料水の確保から発電ま

などで、その魅力を探つた。  
住宅街の中にたたずむ並河家住  
宅の庭の中心にあるのは池。夏の  
濃い緑が映えるが、よく見ると、  
3カ所の滝口から取水し、静かな  
流水となっていることが分かる。  
落成は1894年。水はその4年  
前に開通した琵琶湖疎水から引か  
れた。手掛けた7代目治兵衛は当  
時、隣家に住む3代の氣鋭の庭師  
だった。

京都・東山の南禅寺かいわいには、美しい庭を持つ別荘や料亭が点在する。その庭のほとんどを手掛けたのが明治から昭和初期にかけて「植治」の屋号で活躍し、近代日本庭園の先駆者といわれた庭師7代目小川治兵衛だ。夏の文化財特別公開の対象となつてゐる並河家住宅（並河靖之七宝記念館）

# 流れる疎水の味わい

京都・東山

明治維新後に寂れた京都の発展に多大な役割を果たした琵琶湖疎水を、庭にも使えた幸運がそこにあつた。

その原点である並河家の庭の手入れを担当している勝章さん。庭を眺める一番の場所は「住宅の南東角」と教えてくれた。大きなガラス窓越しに見える池は涼しげで、水面に大きな松の木をゆらゆらと映す。「流れる水は飽きることありません。口差しに輝き、揺らぎ、石を伝って岩に当たり、飛沫<sup>しぶき</sup>を上げます」。庭全体を見渡すと、数多くの灯籠や石が豪快に配置され、若き7代目のエネルギー<sup>エナジイ</sup>ーと、庭の主で、世界的に知られた明治の七宝作家、並河靖之の心意気が伝わってくる。ここは大事な客人をもてなす応接室だった。

7代目が最晩年に手掛けた庭

【葵廬庭園】か、ウエスティン都ホテル京都にある。急な斜面に造られ、一見すると自然の山のようだが、ここも三段の滝など、琵琶湖疎水を取り入れた流水がたっぷり使われている。作庭から80余年たつが、まだ細いモミジの木などもあって、ホテルの歴史と共に変化してきた跡も見て取れる。「庭は、造りたては人間なら赤子のよ

<メモ> JR静岡駅からJR京都駅までは東海道新幹線で約2時間。並河家住宅の夏の特別公開は9月30日まで。観光の問い合わせは京都市観光協会<電話075(213)1717>。

「とじめ置くん」には不可能です」と勝章さん。斜面の途中に散年月を経て数多くのも込められた、生きてわう」ことができる。「植治」の庭で目を最初はセミの声が耳にくるが、しばらくするが勝り始め、清涼感をるという。じつとたまるだけでは分からないも感じてみたい。



南東の角から眺めた庭。流水の池、緑の木々、配置された灯籠や石が見渡せる三京都市東山区の並河住家



◆住宅の脇の滝口からは少量の水が取り込まれ、水面に波紋を広げる=京都市東山区の並河家住宅

沼津市今沢の自家焙煎コーヒー店「花野子」は、當時約30種類のコーヒーを提供している。齊藤清一店主(61)は「いろいろな層の人が、それぞれの目的や好みでコーヒーを楽しんでほしい」と考へている。

# しずおか 珈琲曼荼羅

⑫ -----

### 【III】思いを届ける 好みの選択肢を用意



カウンター越しに常連客と談笑する店主の齊藤清一さん(手前左)

### ＝沼津市今沢の花野子

3年に禁煙の力  
感じる。席とテーブル・  
を増設した。豊  
ヒーメニュー同  
気分に応じて、  
趣の異なる空  
間を選べるよ  
うになった。  
もともとあ  
つたカウンタ  
一席では、齊  
藤さんや店員  
との会話を楽  
しめる。壁に  
面した新しい  
カウンタ一席  
では、静かに  
読書もできる。引き戸で  
仕切れるテーブル・ソフ  
ア席は、簡単な講座が開  
ける。「10年以上かけて、  
誰もが気軽にに入る店と  
いう理想に近づいた」  
店の心臓部の焙煎室と  
内中央にある。担当は齊  
藤さんと長男の大地さん  
(33)。大地さんは「焙煎  
したばかりの豆を振る舞  
つて、お客様からすぐ  
に『おいしかった』とい  
う反応が返ってくる。そ  
こが自家焙煎店の醍醐  
味」と話した。

# 8月の祭り

( ) 内の日付は最終日

<b>1 月</b>	▼弘前ねぶたまつり (~7日、青森県弘前市) ▼盛岡さんさ踊り(~4日、盛岡市)	<b>11 木</b>	▼ちょうちん祭り (~12日、三重県桑名市・多度大社)	<b>21 日</b>	▼毛馬内盆踊り (~23日、秋田県鹿角市) ▼塩屋のウンガミ=海神祭 (沖縄県大宜味村)
<b>2 火</b>	▼青森ねぶた祭(~7日、青森市) ▼御神幸祭 (神奈川県箱根町・箱根神社ほか)	<b>12 金</b>	▼中津川夏まつり「おいでん祭」 (~13日、岐阜県中津川市) ▼阿波おどり(~15日、徳島市)	<b>22 月</b>	▼輪島大祭 (~25日、 石川県輪島市・奥津比咩神社ほか) ▼ヨッカブイ・高橋十八度踊り (鹿児島県南さつま市・玉手神社ほか)
	▼竿灯まつり (~6日、秋田市)		▼郡上おどり「徹夜おどり」	<b>23</b>	▼地蔵盆(福井県小浜市)